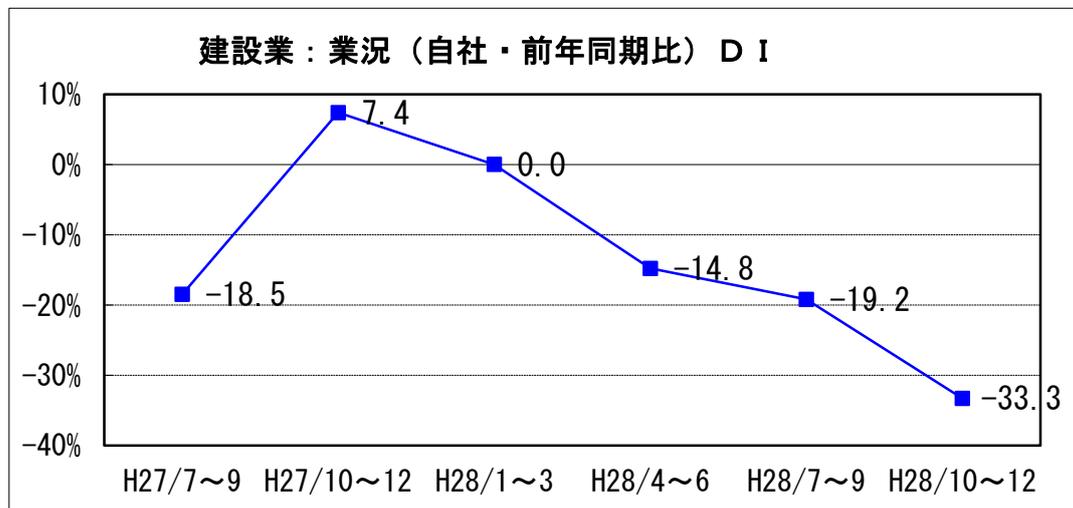


3. 建設業の動向

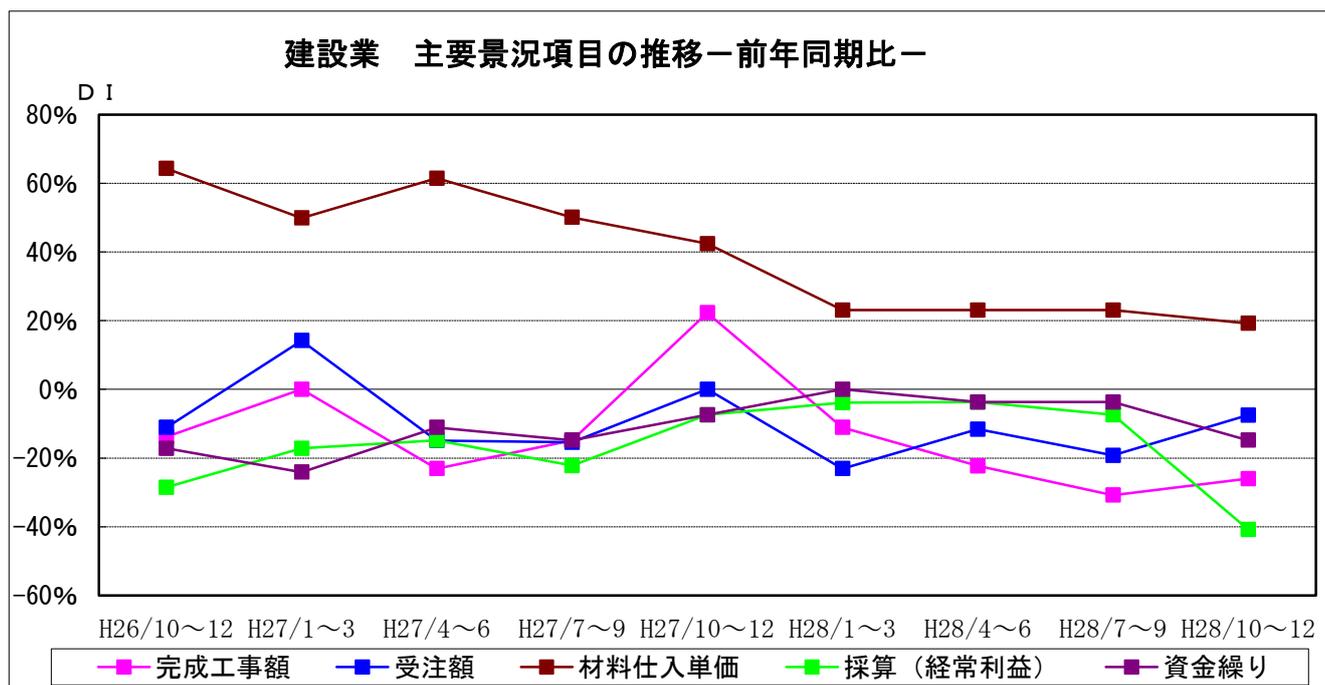
(1) 業況概要（前年同期比）

今期の業況DI値は▲33.3。前期の▲19.2から▲14.1ポイント下落した。来期見通しは、▲37.0と更に下落の見込み。



建設業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

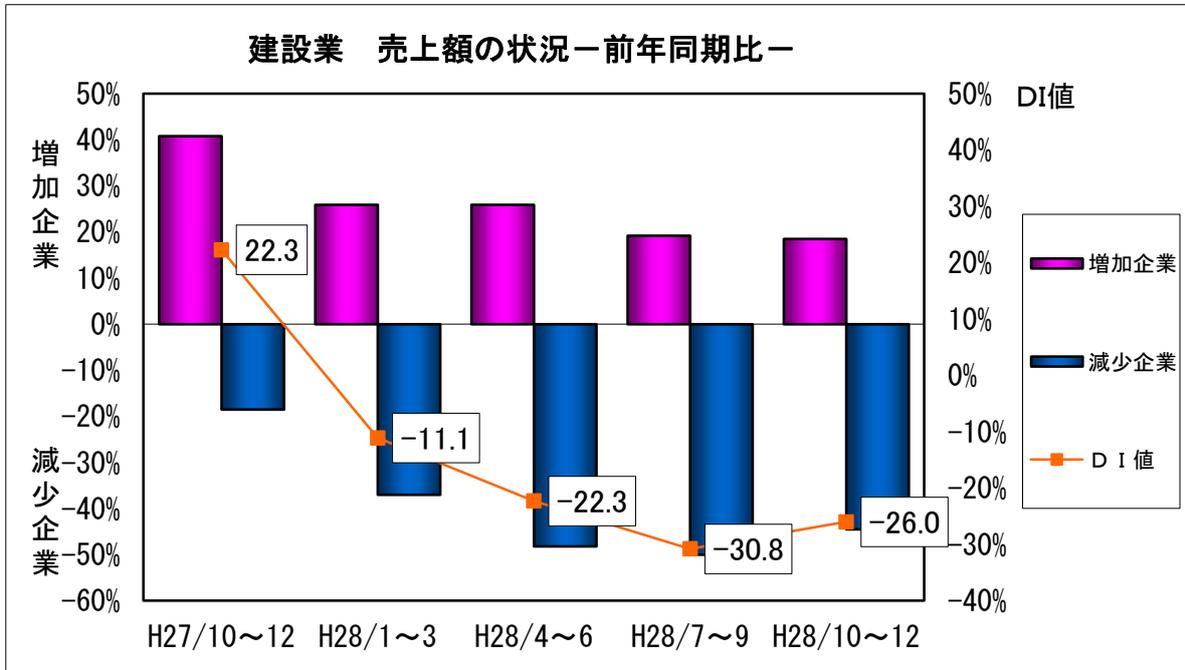
	前々期 (28年4月~6月)	前期(A) (28年7月~9月)	今期(B) (28年10月~12月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
完成工事額	▲22.3	▲30.8	▲26.0	4.8	▲37.1
受注額	▲11.6	▲19.2	▲7.5	11.7	▲30.8
材料仕入単価	23.1	23.1	19.2	▲3.9	12.0
採算(経常利益)	▲3.7	▲7.4	▲40.8	▲33.4	▲29.6
資金繰り	▲3.7	▲3.7	▲14.8	▲11.1	▲22.2



(2) 主要項目の概況（前年同期比）

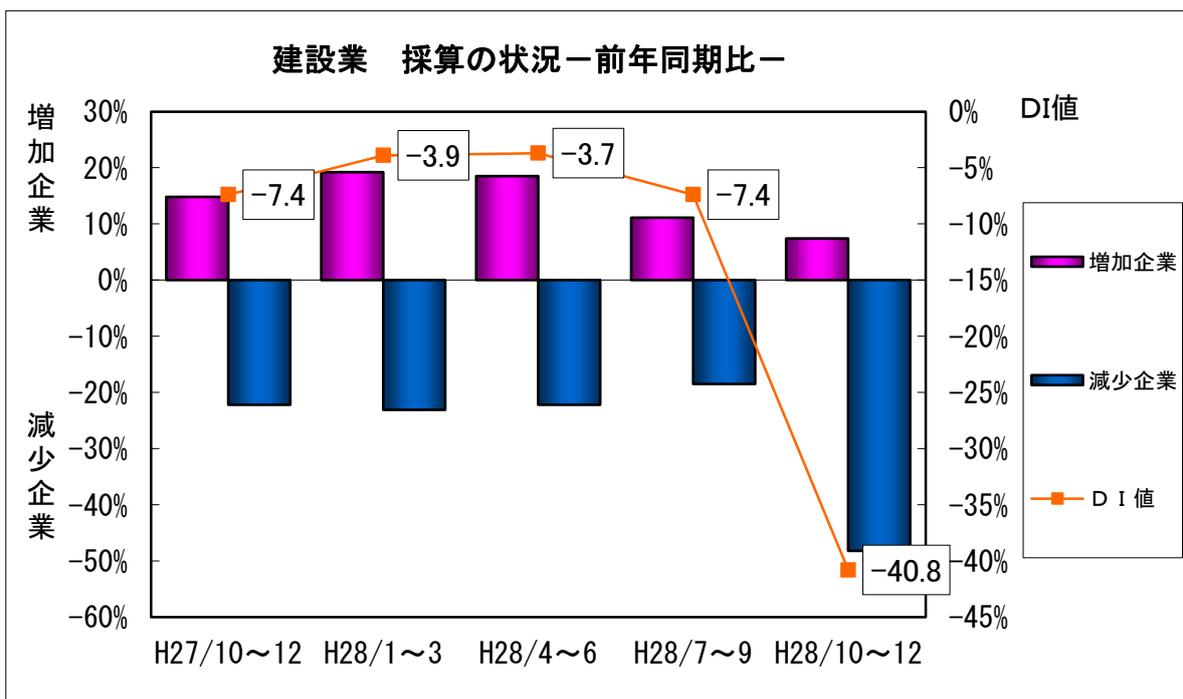
①完成工事額（前年同期比）

今期の完成工事額D I値は▲26.0。前期の▲30.8から4.8ポイントの上昇となっている。来期見通しは▲37.1と下落の見込み。



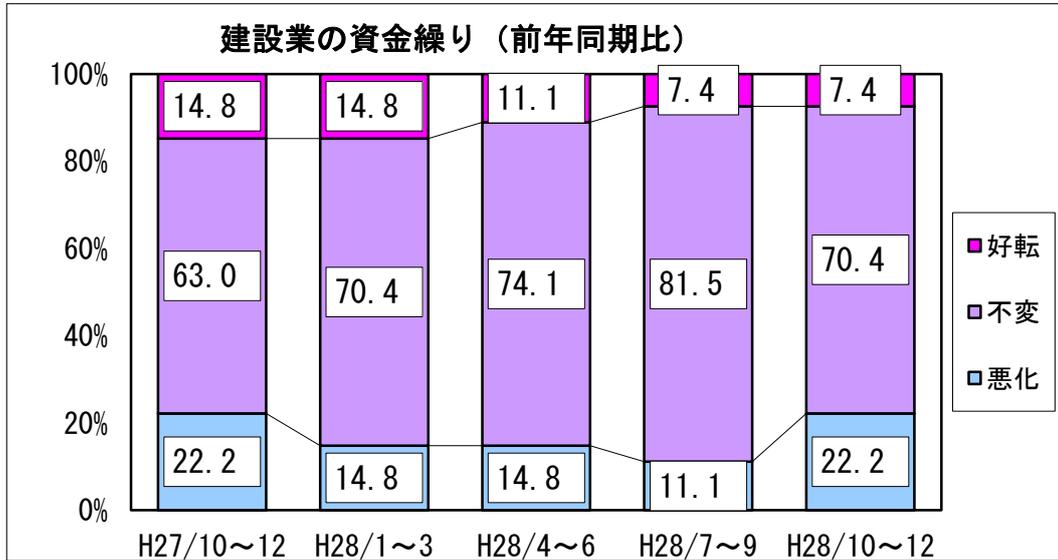
②採算（前年同期比）

今期の採算D I値は、▲40.8。前期の▲7.4 から▲33.4 ポイント大幅に下降した。来期見通しは、▲29.6 と上昇する見込み。



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りDI値は▲14.8。前期の▲3.7から▲11.1ポイント下降した。来期見通しは、▲22.2と更に下落に転じる見込み。

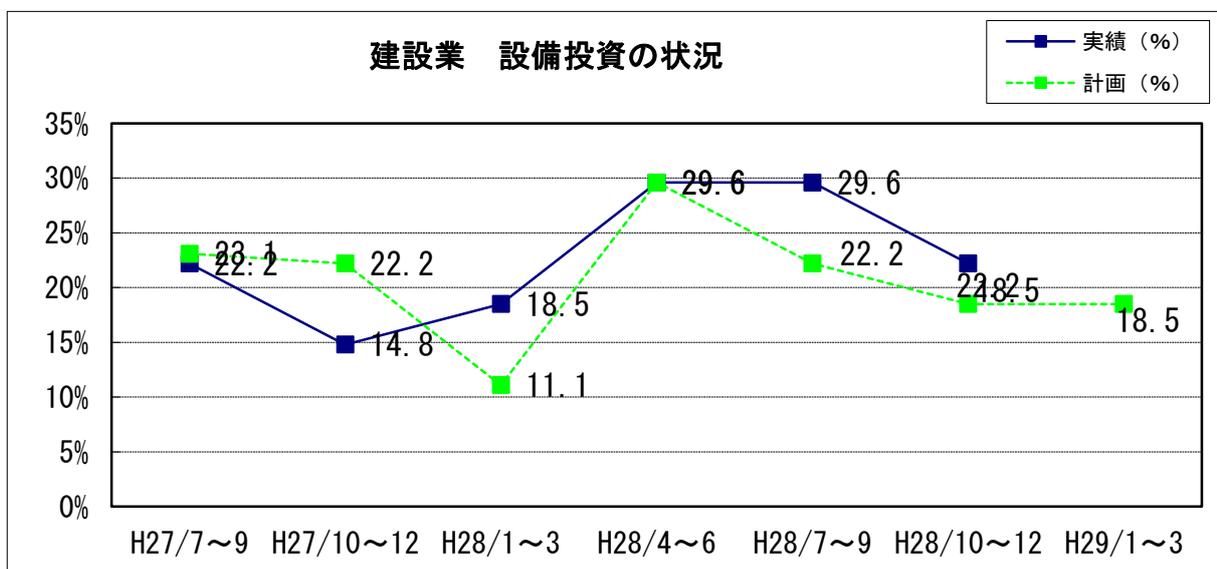


④設備投資

新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	建設機械	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	8	0	1	2	4	0	1	0	1	19
(%)	29.6	0.0	12.5	25.0	50.0	0.0	12.5	0.0	12.5	70.4
今期実施 (実数)	6	2	0	0	4	1	1	1	0	21
(%)	22.2	33.3	0.0	0.0	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0	77.8
来期計画 (実数)	5	1	1	1	3	2	1	0	0	22
(%)	18.5	20.0	20.0	20.0	60.0	40.0	20.0	0.0	0.0	81.5

今期設備投資を実施した企業は6社（22.2%）。前期（平成28年7～9月期）の実施企業8社（29.6%）より減少。来期は5社（18.5%）が設備投資を計画している。



⑤経営上の問題点

今期、経営上の問題点として建設業が一位～三位にあげる項目は、

- ・ 「従業員の確保難」 (前期 37.5%→今期 37.5%)
- ・ 「民間需要の停滞」 (前期 33.3%→今期 33.3%)
- ・ 「材料費・人件費以外の経費の増加」 (前期 20.8%→今期 25.0%)
- ・ 「熟練技術者の確保難」 (前期 29.2%→今期 25.0%)

となっている。

